



第6号

令和2年10月30日

庄和すずらん幼稚園

保育随想

★ 人間は良い方向に生きる！

毎日の生活の中でも、選択を迫られることは普通に起きて参ります。そして、何事にも相手があることですから、相手が譲歩してくれれば、考えを変えてくれれば、道は開けるのに、解決するのにと願うことは多々あります。相手の立場になって考えると、どうやら、そう言う思いなんだと言うことが理解できますが、思いに隔たりが大きい場合にも、衝突を避けるために自分が考えて、相手に添った道を見付ける作業で事なきを得ることは、良く出て参ります。また、周囲を見回しても、それぞれに思い思いに歩んでおりますので、意に添わないことだらけの青春時代を、そのまま生き抜いている姿にも遭遇するのですが、人は、心地よく思い通りの道を見付けて歩むものなのだ！と思えるようになるまでに、多くの経験をしなければならないようです。進路の選択も同様です！住むところも住む家も快適さを求めて形にしようと努力して生きています。今のままではいけない！反省を繰り返しながら続かないことを、今まで何度も繰り返して参りました。そこで、形に成らない自分の歩みを、中途半端な人生なんです！と、自分を擁護しながら人には話すのです。多くの人が言い訳をしながら生きることも実際です。当然、そんな生活の中にも、喜びや楽しさを感じられて日々がつながってきておりましたが、自分自身の歩みをどのように受け止めて今を生きるかは、それぞれでありましようが、努力したことも上手く行かなかったことも、その時その時の最良の判断で選択して来た私たちでありますので、自分の中で納めることも必要かと思うのです。

それは、神様が居るとしたら、私たちを、その様に作ってくれたのですから、いつも正しい道ばかりでなく、悔いの残る歩みもしてきました。楽になるために修行された方は、清濁、併せ呑んで人生ですよと言う。ゆたかに生きるためには、一つの事に拘りすぎない方がいいですよと言う。その様なことを思い起こすときは、人間って、仕様が無いもんだ！自分を含めて自分を取り戻すようにして、自分なりの快適な生活の流れや形に落ち着かせているのが現状かと思えます。上手く行ったときは周囲の人の力で、思うように行かなかったときは、

全て自分の責任と思い、多くの嬉しいことは周囲から貰っていることにも行きつきます。

私の、上手く行かない時の気持ちの落としどころは、友人が四国の88か所の札所巡りで出会った言葉を書き写してきたものがありまして、部屋に掲げてあるもので、落ち着きを取り戻し、新たな出発にしています。以下にご紹介いたします。

丁度よい お前は、お前で ちょうどよい 顔も体も名前も姓も お前に それは丁度よい 貧も富も親も子も息子の嫁もその孫も それはお前に丁度よい 幸も不幸も よろこびも 悲しみさえも丁度よい 歩いたお前の人生は 悪くもなければ良くもない お前にとって丁度よい 地獄へ行こうと極楽へ行こうと いったところが丁度よい うぬぼれる要もなく 卑下する要もなく 上もなければ下もない 死ぬ月日さえも丁度よい 収穫の秋です。11月の子ども達の生活も前向きに挑戦して参りましよう。